

談話室

ロゴマークの●の数はなぜ3なのか？

坂田 亮

慶応義塾大学名誉教授

〒180-0013 東京都武蔵野市西久保 2-28-13

(1999年10月4日受理)

Why Has Our Logo-mark 3 Circles ?

Makoto SAKATA

Keio University, Emeritus Professor

2-28-13 Nishikubo, Musashino, Tokyo 180-0013

(Received October 4, 1999)

場所は、東京理科大学（東伊豆研修所）、時は 99.8.19 の夕方、当学会・拡大理事会の席上のことである。当学会法人化にあたり、定款原案作りの緊迫した議論の合間に、当学会のロゴマーク決定の議題が出された。皆は、ほっとして、其の話題にしばらく花を咲かせた。多数の応募作品への投票結果が示され、最高点のものに決まった。其の後で、そのマーク (Fig. 1) につき様々な解釈が加えられた。学会の略号 SSSJ を図案化し波形の S の字の谷間をポテンシャルの谷と考えると、その上に位置している●は原子と考えるのがよさそうだということになった。つまりそれは、物質の表面の原子を暗示している。S の字が 3 個だからその上の原子も 3 個でバランスを採っている。しかし皆は、3 個にこだわった。ある人は、「団子 3 兄弟」と叫んだ。皆は大笑いして、先ほどまでの会議の緊迫感が瞬間ほぐれた。しかしそれを真に受ける人はいない。結局、バランスを採ったのだらうぐらいで、その場は終わった。しかし、先ほど 3 兄弟と叫んだ“その人”は、バランスだけの説明ではすっきりしなかった。

東京に帰ってから、その人は、このロゴマークの作成者である今井則友君（拓殖大学工学部、工業デザイン科；同大学の関 節子先生ご指導）に E-mail して聞いてみた。その答えは、「S の字を斜形にすることで、波形の SSSJ の上面を、より表面的なイメージにし、その表面（凹凸）にある粒子を数個の●で表現した。粒子の数は、最もバランスのよい 3 個にした」との返事ももらった。

我々の推量通りであった。しかし、3 個については、“その人”には、やはり満たされない何ものかが残った。



Fig. 1 SSSJ' logo-mark.

そこで、物好きにも“その人”は数字 3 の解明に乗り出した。そして遂に、文献「郡司正勝：和数考、白水社（1997）」にたどり着いた。以下、その文献内の“三”の章につき適当にアレンジして紹介しよう。

“三”という数字の格は、数の仲間のなかで最高の位で、千や万とは次元を異にする数字であるとのこと。まず 1 年の始まり正月元旦は、年の初め月の初め日の初めが重なるので「三朝」といい、目出度い物事の始まりを祝す。結婚式での「式三献」つまり「三三九度」があり、「三国一の花婿」がある。

「三」の数字は、なにによらず、それぞれの世界を示す最高の標示である。仏教での最高のもの「仏法僧」を「三宝」といい、キリスト教で神の姿を全うせる様を「三位一体」といい、日本の天子の象徴となった宝も「三種の神器」であり、「三光」といえば、太陽、月、星の宇宙の光り物のことで、花札の得点でも最高を占め、（残念ながら頭の光りは入らない）、富士山は、「三国一の不二の山」なのである。三国一は世界一のことである。

人間の行動も「三度探して人を疑え」というぐらい、「三度」行動することが究極の原則である。この「三度」は、単なる“3”ではなく、「幾度も」の意味を含む。また、「三度」は、日本民族の古代からの行動原則を規定する想念でもあった。「古事記」で、イザナギノミコトが冥界から逃れ出るときも、桃の実を三箇とって撃ちつけたという。スサノオノミコトが、蛇の室に入れられたとき、“ひれ”を「三たびふり」、蛇を払い退けている。「三度」は強力なる呪力を発揮するのである。

君子の進退行動の規定として、「三言三辞（譲）」がある。たとえば、蜀の「劉備」が「三顧の礼」を尽くし、諸葛亮（あざなは、孔明）を迎えたのは有名である。そして目出度く物事が成就したときに、祝って三度手を打つのを「三度の手締め」という。

さてこれで、“3”がいかに素晴らしい数字であるかがおわかりになったであろう。その縁起の良い“3”個の原子を含んだロゴマークを学会誌の表面に冠し、見事に法人化を成就させ、「三度の手締め」を会員一同でしたいものである。